

プライマリーバランス（基礎的財政収支）

通常、プライマリーバランスは、歳入から地方債の新規借入額を除いた額、歳出から公債費を除いた額で求められる収支のバランスです。

しかし、歳入の基金繰入金、繰越金、歳出の基金積立金については、正味のその年度の収入支出とはいえない性質のものであるため、ここでは、通常の地方債、公債費のみを除いたものと、そこからさらに歳入の基金繰入金、繰越金、歳出の基金積立金を除いたもの、2種類の収支を求め記載しています。

平成20年度以降のプライマリーバランスについては、概ね黒字で推移していますが、平成20年度、平成26年度については、赤字になりました。これは、平成20年度は有線放送デジタル化整備、平成26年度は、五條市の新し尿処理施設整備負担金、南和広域医療組合の新病院建設負担金と両年度とも大規模な建設事業実施に伴い多額の地方債を新規に借入したためです。

平成27年度、平成28年度についても南和広域医療組合の新病院建設、医療機器等の整備に伴う負担金などにより地方債の新規借入額が多い状態が続く見込みで有あり、プライマリーバランスは赤字になる可能性があります。

（単位：千円）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
①歳入合計額	5,733,232	6,194,654	5,812,328	5,264,836	5,468,360	5,741,400	5,742,299
②基金繰入金	130,333	19,533	15,229	32,671	203,010	48,096	218,616
③繰越金	106,969	241,587	406,510	331,384	476,736	459,672	378,341
④新規借入額	1,103,800	710,700	376,950	292,022	301,600	542,100	620,500
Ⅰ. 基礎的財政収入（①-④）	4,629,432	5,483,954	5,435,378	4,972,814	5,166,760	5,199,300	5,121,799
Ⅱ. 基礎的財政収入（①-②-③-④）	4,392,130	5,222,834	5,013,639	4,608,759	4,487,014	4,691,532	4,524,842
⑤歳出合計	5,491,645	5,788,144	5,480,944	4,788,100	5,008,688	5,363,059	5,394,412
⑥基金積立金	93,047	294,489	571,266	178,378	205,807	205,280	95,641
⑦公債費	776,215	765,237	709,247	614,448	606,075	645,865	600,194
Ⅲ. 基礎的財政支出（⑤-⑦）	4,715,430	5,022,907	4,771,697	4,173,652	4,402,613	4,717,194	4,794,218
Ⅳ. 基礎的財政支出（⑤-⑥-⑦）	4,622,383	4,728,418	4,200,431	3,995,274	4,196,806	4,511,914	4,698,577
ア) プライマリーバランス（Ⅰ-Ⅲ）※	▲ 85,998	461,047	663,681	799,162	764,147	482,106	327,581
イ) プライマリーバランス（Ⅱ-Ⅳ）※	▲ 230,253	494,416	813,208	613,485	290,208	179,618	▲ 173,735

※通常の歳入から地方債、歳出から公債費を除いたものが、ア) プライマリーバランス。そこからさらに歳入から基金繰入金、繰越金、歳出から基金積立金を除いたものが、イ) プライマリーバランスです。